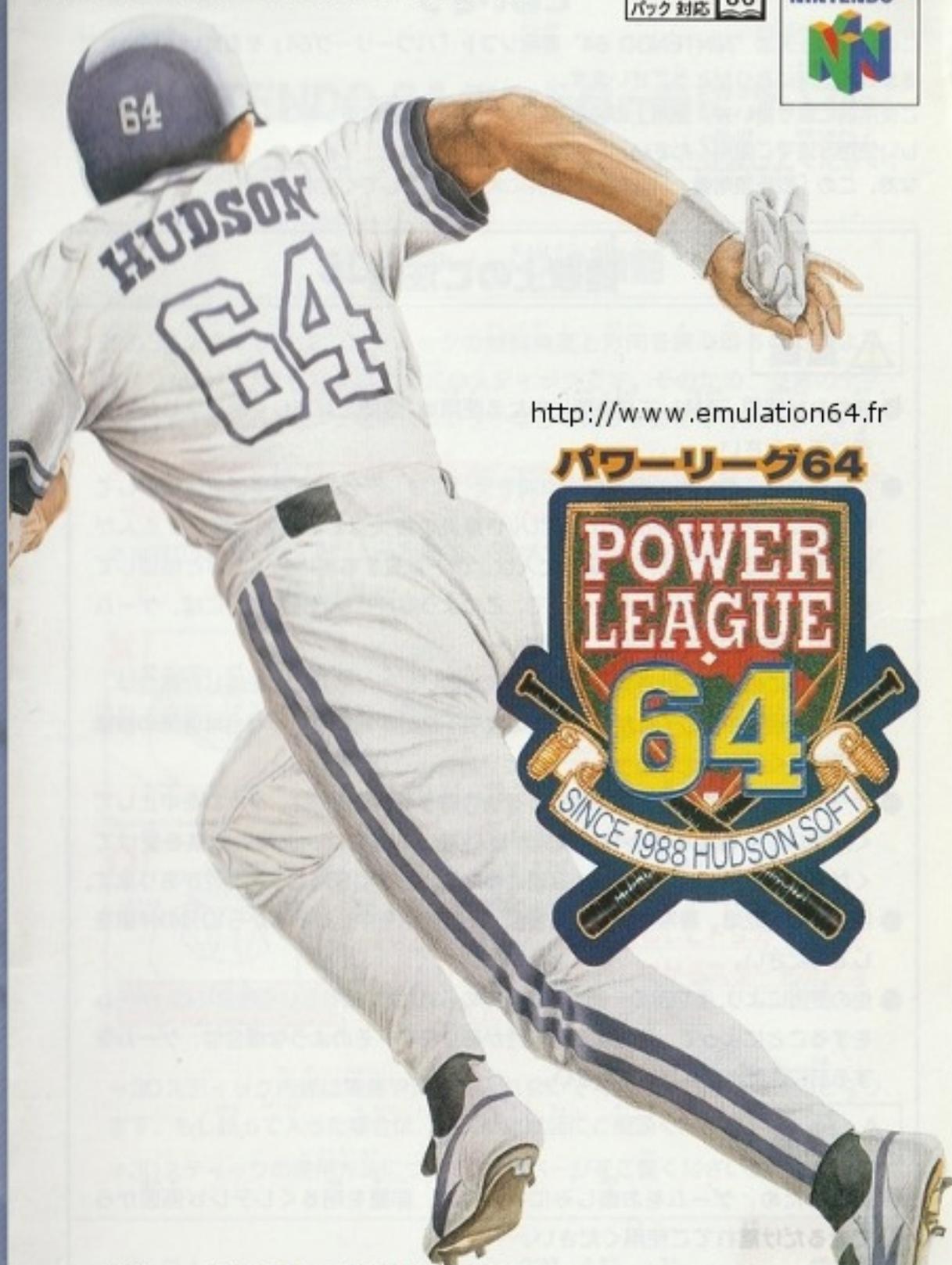


Power League Baseball 64

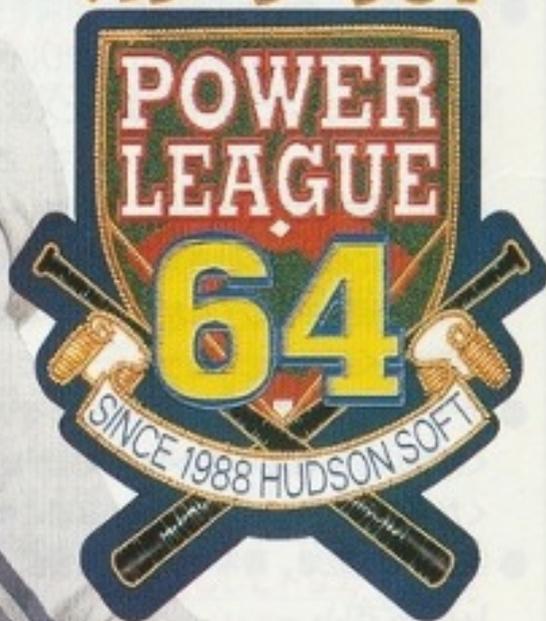
(社)日本野球機構 プロ野球12球団公認ゲーム

コントローラ
パック対応 86



<http://www.emulation64.fr>

パワーリーグ64



HUDSON[®]

©1997 HUDSON SOFT

NUS-NPL J-JPN
Emulation64.fr

NINTENDO 64 コントローラについて

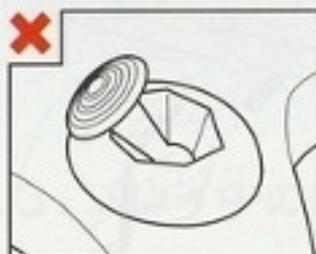
NINTENDO 64 コントローラを使用する上で、次のことに注意してください。

3Dスティックの機能

この3Dスティックは、スティックの傾斜角度と方向を読み取ることにより、微妙な操作ができるアナログ方式のスティックです。そのため、従来の十字キーでは表現しにくかったキャラクターなどの微妙な動きも可能になります。

*** NINTENDO 64 本体の電源スイッチを入れる時に、コントローラの3Dスティックの部分に触らないでください。**

* 本体の電源スイッチが入った時の、3Dスティックの位置を「ニュートラルポジション」と呼びます。



この時に、3Dスティックが傾いている場合（左上の図）、傾いた状態が「ニュートラルポジション」と設定されます。このようにニュートラルポジションの位置がズレた状態では、3Dスティックが正常に操作できなくなります。



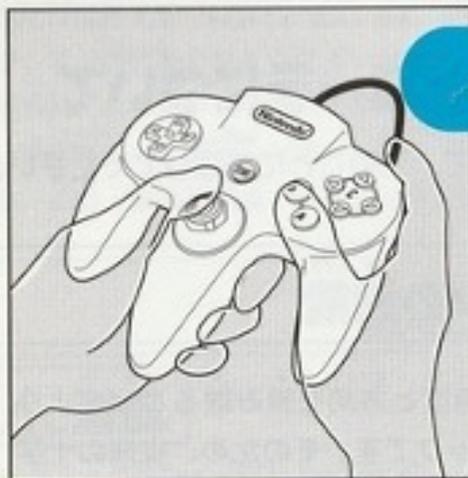
正しいニュートラルポジションの位置（左下の図）に修正する場合、次の操作をしてください。

3Dスティックから指を離し、LトリガーボタンとRトリガーボタンを押しながらスタートボタンを押してください。（再設定機能）

* 3Dスティック内部に液体や異物を入れないでください。故障の原因となります。もし誤って入った場合は、お買い上げ店にご相談ください。

* 3Dスティックの使用方法については、6ページをご覧ください。

●ゲームを始める前に●

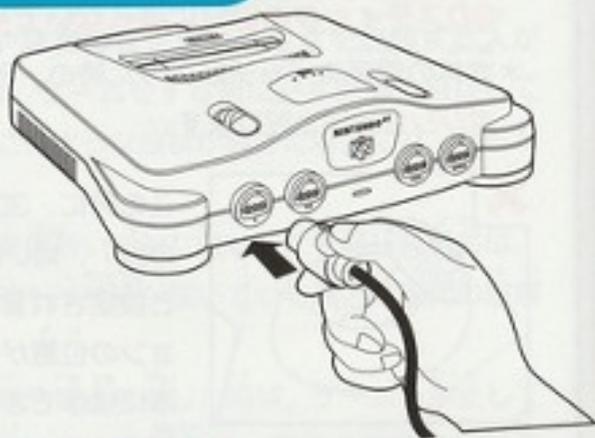


●コントローラの握り方

「パワーリーグ64」では、コントローラをライトポジションで握ることをお勧めします。このポジションでは、左手の親指を3Dスティックに乗せ、右手の親指で、A/Bボタンおよび、Cボタンユニットを押すようにすると操作がしやすいでしょう。

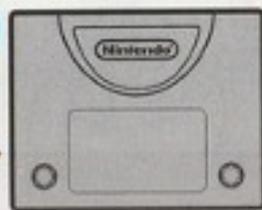
●コントローラコネクタへの接続

このゲームでは、NINTENDO 64本体前面にあるコントローラコネクタ1にコントローラが接続されていないと、ゲームを始めることができません。警告の文章が画面に表示された場合には、いったん電源を切って、コントローラをコネクタ1に接続して電源を入れ直してください。



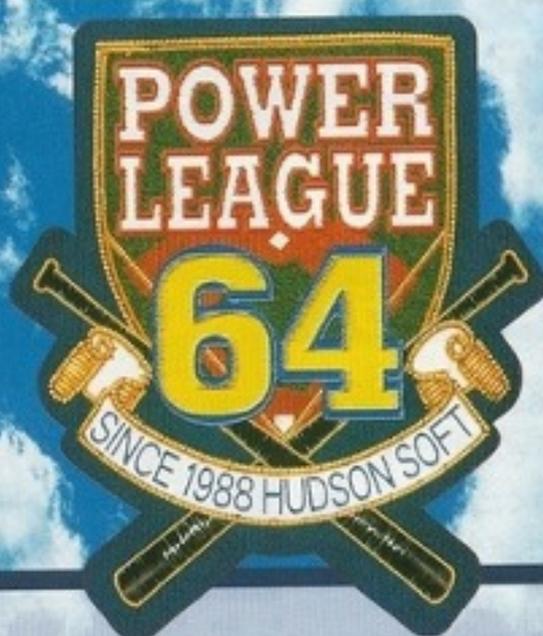
●コントローラパックについて

このゲームでは、変更内容を別売りのコントローラパックに記録（セーブ）していきます。コントローラパックが無いと変更内容が何も保存されませんので、ご了承ください。なお、このゲームでは86ページの記憶容量が必要です。また、コントローラパックの抜き差しは必ず電源を切ってから行ってください。



コントローラパックに保存される内容

- ベナントモードの戦績
- ベナントモードのゲーム設定
- エディットモードの選手データ
- エディットモードのオールスターデータ
- オプション設定



目次

- | | |
|--|----|
| 1. ゲームの始め方 <small>はじ</small> & 基本操作 <small>かた</small> 6 | 6 |
| 2. コントローラ <small>せつ</small> の説明 <small>めい</small> | |
| 打者 <small>だ</small> と走者 <small>しや</small> 8 | 8 |
| 投手 <small>とう</small> と野手 <small>しや</small> 10 | 10 |
| 3. プレイ中 <small>ちゆう</small> の操作方法 <small>そう</small> 12 | 12 |
| 4. ゲームの始め方 <small>はじ</small> & 基本操作 <small>かた</small> 17 | 17 |
| 5. 各モード <small>かく</small> の説明 <small>せつ</small> | |
| オープン戦 <small>せん</small> モード 18 | 18 |
| ペナントレースモード 19 | 19 |
| ウォッチモード 21 | 21 |
| エディットモード 22 | 22 |
| レースモード 25 | 25 |
| オプションモード 26 | 26 |
| 6. 球団 <small>きゆうだん</small> & 球場 <small>きゆうじやうじやう</small> 紹介 <small>かい</small> 28 | 28 |



1. ゲームの始め方 & 基本操作

● ゲームの始め方

ソフトをNINTENDO 64本体に差しPOWERをONにするとコントローラバック使用の選択画面が映し出されます。そこでコントローラバック使用の有無を選択後（コントローラバックについてはP.4をご覧ください）デモ画面となり、そこでスタートボタンを押すとタイトル画面が、さらにスタートボタンを押すとモードセレクト画面になります。

ゲームを始めるまでの基本操作

スタートボタン

デモやタイトル画面を飛ばす時や、EDITモードでの登録などに使用します。

Rトリガーボタン

Lトリガーボタンと同様に、EDITモードでの選択に使用します。

Cボタンユニット

EDITモードのオリジナル選手登録時に、左右でページを変更します。

Aボタン

選択した各項目の決定に使用します。

Bボタン

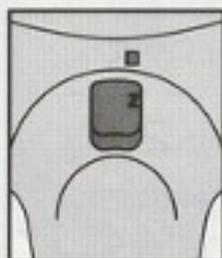
選択した項目のキャンセルなどに使用します。

3Dスティック

各項目の選択や、数値の変更などに使用します。

Zトリガーボタン

EDITモードのオリジナル選手登録時にフィールダー・ピッチャーの選択や、登録するチームの選択などに使用します。



●各モードの説明



ゲームを始める前にまず、このモードセレクト画面で「パワーリーグ64」でプレイできる各ゲームモードの選択や選手の設定変更、ゲームルールの変更などを行います。各モードの詳細な遊び方や使用方法は、それぞれのページをご覧ください。

オープン OPEN

1P VS 2P、1P VS COM(コンピューター)でプレイする1試合のみの対戦モードです。リーグに関係なく対戦チームを選択することができます。(→P.18)

ペナント PENNANT

全10試合で競い合う[ミニペナント(MINI PENNANT)]と、全135試合+オールスター戦2試合を行う[フルペナント(FULL PENNANT)]から選択して遊びます。(→P.19)

ウォッチ WATCH

2チームを選択して、コンピューターによる試合を観戦することができるモードです。監督としてチームの選手起用を指示することもできます。(→P.21)

エディット EDIT

各チームの先発オーダーの変更や、オールスターの選手登録の変更ができます。また、オリジナル選手の作成・登録なども行えるモードです。(→P.22)

ホームランレース HR RACE

全球団の中から好きな打者を選び、何本のホームランを打てるかを競い合う、バッティングの練習に最適なホームラン競争のモードです。(→P.25)

オプション OPTION

イニング数やコールドゲームの有無などの、ゲームルールの設定や、サウンドなどのゲーム環境の設定を行えるモードです。(→P.26)



2.コントローラの説明

●打者と走者

※この説明は、右打者を基本として表記してあります。
特に指示がない場合は、左右の打者共通です。

Lトリガーボタン

ピッチングスコープを表示します。

十字キー

打者のバッティングポジションを移動するのに使います。右に押すとホームベース寄り、左に押すとホームベースから離れます。(左打者の場合は逆)
なお、投手が投球動作にはいると移動できません。

スタートボタン

TIME (一時停止) に使います。

3Dスティック

打者のスタンスを左でオープンスタンス、右でクローズスタンス(左打者の場合は逆)に、上下でスイングの高低を操作します。走者の時は塁指定を行います。

Bボタン

打者操作の場合はコンパクトスイングを行い、走者の場合は個別盗塁・進塁させる時に使います。

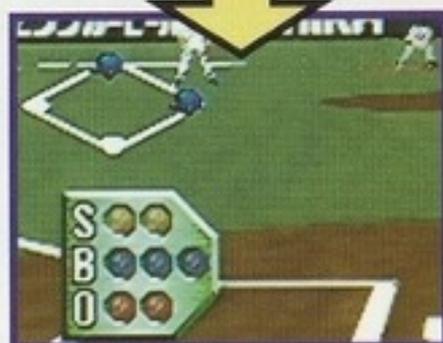
走者の操作方法



- Zトリガーボタン…………… 全走者進塁
 - Zトリガーボタン+Rトリガーボタン…………… 全走者塁間で停止
 - Rトリガーボタン…………… 全走者帰塁
 - Aボタン+塁指定…………… 走者個別帰塁
 - Bボタン+塁指定…………… 走者個別進塁(盗塁)
 - Aボタン+Bボタン+塁間指定…………… 走者個別帰塁
- ※ 塁、塁間指定は3Dスティックで行います。

Rトリガーボタン

打者の場合はバントを行い、Rトリガーボタン+AあるいはBボタンでプッシュバントを行います。また、走者を全員帰塁させる時に使用します。



現在の走者の状況は、画面端のカウントボードの上に表示されます。進塁や帰塁時にはここで走者の状況を確認しましょう。

Cボタンユニット

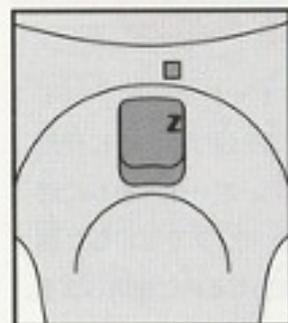
上下左右の各ボタンを押すことによって、カメラアングルを変更することができます。

Aボタン

打者操作の場合はフルスイングを行い、走者の場合は個別帰塁させる時に使用します。



プレイ画面は、Cボタンユニットで4バターンのアングルに微妙に変化します。プレイしやすいカメラアングルを選んでください。



Zトリガーボタン

走者の全ランナーの進塁(打球時のリードから盗塁)を行う時に使用します。

コントローラの説明

●投手と野手

Lトリガーボタン

ピッチングスコープを表示します。

Rトリガーボタン

野手の捕球時に押すとジャンピングキャッチします。また、守備シフトを通常に戻すときに使用します。

スタートボタン

TIME (一時停止) に使用します。

3Dスティック

投手の球種選択や投球コースの選択・微調整に使用。野手の場合は補給前の野手の移動や送球・タッチの塁指定に使用します。

Bボタン

投手が、フォークボールやSFFなど落ちる球を投げるときに使用します。また、ボールをもった野手を3Dスティックで指定した塁に向かって走らせる時に使用します。



3Dスティックによる 球種の決定と 送球方向

投手/変化の大きさ

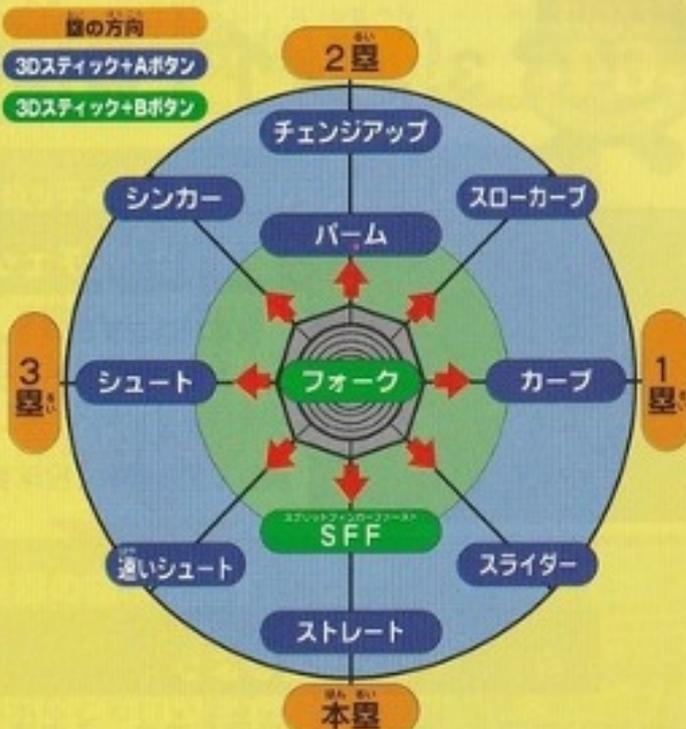


球種選択し、投球後に3Dスティックを大きく倒すと変化が大きくなり、小さく倒すと変化が少なくなります。

野手/送球方向の決定



送球時には、3Dスティックで球を投げる際の方向を指定する必要があります。塁タッチや飛び出した走者にタッチするときも同様です。



●図の球種表示は、右投手を基本に記載したもので、左投手の場合は設定が逆になります。

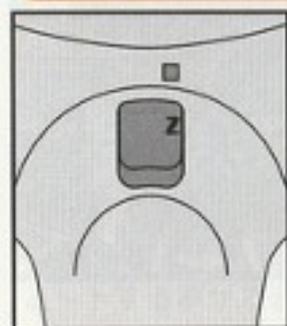
Cボタンユニット

投球前の守備のシフトの変更に使います。上に押すと後退し、下を押すと前進守備、左右を押すと守備体型を左右に移動します。

Aボタン

投手の投球や、牽制球を投げる時、また野手が送球するときに使います。(投手がwindアップモーションの時押し続けると、振りかぶったまま静止します。)

Zトリガーボタン



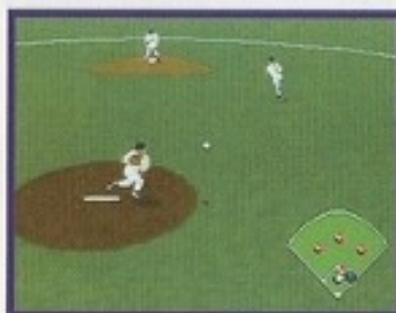
投手がマウンドをはずす(牽制球を投げる)時に使います。走者が一人の時はAボタン+Zトリガーボタンで自動的に牽制球を投げます。また、Zトリガーボタンを押したまま3Dスティックを動かすと、ボールを持った野手を自由に動かせます。さらに野手が打球を捕るときに押し、ジャンピングキャッチをしますが、3Dスティック+Zトリガーボタンではスライディングキャッチをします。



投手の投球前に、得点ボードの下にその投手の防御率とこの試合での奪三振数(K)が表示されます。



3. プレイ中の操作方法 (投手編)



走者の状況をチェックし、投球の準備

投球前はまず配球をよく考えてから投球モーションに入ると良いでしょう。走者が塁上にいる場合、リードが大きい走者をZトリガーボタン+Aボタンを使い牽制球で戻してから素早く投球するといった技も必要です。

まず、球種を決定しよう

次に3Dスティックを操作し球種を決め、その後A(B)ボタンを押します。これで球種を決定します。



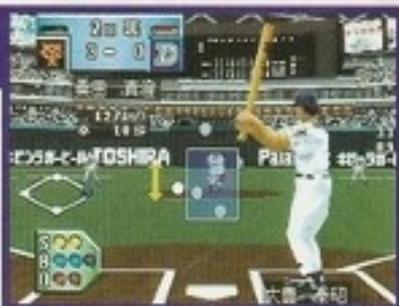
投球決定後、コース調整を行う

球種、投球コースが決まった後にA(B)ボタンを離すと投球を始めます。投球後も、3Dスティックを操作する事によって微妙な球筋の変化を与えることができます。



ピッチングスコープで球筋を確認

投球が終了し、球が捕手のミットへ届くとピッチングスコープが出現し、その投球コースと打席の全配球がわかります。投球のコツをつかむ目安や、次の配球の参考にしてください。



プレイ中の操作方法 (打者編)



バッティングポジションを決め、打ち方を決める

まず投手が投球モーションに入る前に十字キーの左右を操作して、バッターボックス内のバッティングポジションを変更します。この時点でインコース狙い・アウトコース狙いを決める必要があるでしょう。

走者を見て、進塁の指示を出す

投手の投球前、投球モーションから投球の間に、盗塁やヒットエンドランの指示なども行います。この際ヒッティング、バントのどちらで攻めるかを考えて操作しましょう。



投手の投球後、球筋をよく見る

投球後の球の高さ、コースをよく見てスイングをするか、球を見送るかを判断します。慣れないうちは表示(→P27)をONにし、矢印が出て球の高低を教えてくれる機能を利用すると良いでしょう。



スイングの高さを決め、ヒッティング

ヒッティングを行う時は、投手の投げる球にあわせて、3Dスティックの上下で高さ、左右で打つ方向を決め、AあるいはBボタンでスイングします。スイングの高さ・タイミングが上手く合うと球をミートする事ができます。



プレイ中の操作方法 (野手編)



ゴロ・フライ・ライナーなどの打球を捕る

打球がフェアグラウンド内に飛んできた時は3Dスティックを操作して捕球します。捕球までの全選手の動きはスティックに連動しています。ジャンピング・スライディングキャッチを利用して素早く捕球しましょう。

捕球後の球を送球する

捕球後は球を投げたい塁に送球します。3Dスティックで送球する塁を指定してからAボタンで送球します。ベースに近い所で捕球した場合には、塁を指定してからBボタンを押し、走者にタッチをすると良いでしょう。



盗塁を阻止するには

カウント表示上のランナー表示で走者の表示が点滅した場合、走者が盗塁を始めた事を示します。投球後に捕手は3Dスティックで盗塁先の塁を指定し、Aボタンで送球して盗塁を阻止しましょう。



相手の攻撃を読んで、シフトを変更

Cボタンユニットの各ボタンを操作して全野手のシフト変更ができます。相手バッターの飛球方向やバント攻撃などを予測して、適正な守備位置に野手をシフトしましょう。



プレイ中の操作方法 (走者編)



モーションを見て盗塁を仕掛けよう

塁上に走者がいる場合には、盗塁を仕掛けることができます。Zトリガーボタンあるいは3Dスティック+Bボタンで進塁を指定してください。もちろん、走力の高い選手ほど盗塁成功率が高いです。

ヒットエンドラン・バントを使い確実に進塁

ヒッティング・バンドと足をからめた攻撃を使う場合、まず走塁指示を行ってからバッティングを行います。BボタンによるコンパクトスイングやRトリガーボタン+Bボタンによるブッシュバントを利用しましょう。



打球の行方を見て、進塁の指示を出そう

外野が打球を後逸した場合には、さらに次の塁への走者の進塁を狙いましょう。この場合もZトリガーボタンあるいは3Dスティック+Bボタンで進塁を指定してください。

打球によっては帰塁の指示も必要

フライ、ライナーなどの打球が捕球された時は、走りだした走者を塁に戻す必要があります。Rトリガーボタンあるいは3Dスティック+Aボタンによる帰塁や、塁間停止指定などを使い上手に対応してください。



選手交代



投手・守備の交代

まずTIMEをかけメニューを開きます。投手交代の場合はリリーフを選択、3Dスティックで投手を選びAボタンで決定します。守備位置変更の時も同様の操作で、まず変更したい守備位置を選択し、次にそこへ守備をつかせたい選手を決めます。

代打・代走の采配

打席の最初にTIMEをかけ、メニューを開き代打を選択、3DスティックとAボタンで決定します。代走を出す時も同様の操作で、まず出塁している塁上の選手を選択、次に代走に出す選手を決定します。



TIME(タイム)



選手の交代やゲームの設定を変更したい時にはスタートボタンでTIMEをかけ、次にAボタンでメニューを開いてください。メニューの「オプション」では3Dスティックの上下(項目移動)とAボタン(各選択)によって、「落下地点」「表示」のON・OFF(→P26)の変更の他「1P(2P)操作」を監督か自分かに変更できます。ここで監督を選ぶと各選手がオートで動き選手交代などの采配だけを行うモードになります。



4. 画面表示の見方

攻撃側・守備側ともにこの画面で投球・打撃のプレイを行います。ゲーム上必要となる、画面内に表示されるデータは下記の通りです。なお打者のデータは、バッターが打席に立つ時（ウグイス嬢が打者の紹介をしている間）に画面下に表示されます。また、打者の紹介は、Zトリガーボタンを押すことでキャンセルできます。



- 1 現在のイニングと両チームの得点が表示されます。
- 2 投球前に投手名と防御率・奪三振数が表示されます。
- 3 投球後、その球の球速とその球までの投球数が表示されます。
- 4 出塁している走者の位置・状況が表示されます。
- 5 ストライク(S)・ボール(B)・アウト(O)数が表示されます。
- 6 打席に入る前には打者名の他、打率・成績などが表示されます。

●フィールド画面

ヒットした打球は、さまざまなカメラアングルによって映し出されます。また、画面右下には各野手や走者の状況が表示されますので、捕球や走塁の目安となるでしょう。



← 落下地点をONにしておけば、打球の落下位置を教える。捕球を助けてくれるぞ。



5. 各モードの説明

ここではモード選択画面で選べる各モードについて解説していきます。各モードの遊び方をよく理解してから、プレイするモードを選択しましょう。

オープン
OPEN

オープン戦モード

1P VS 2P、1P VS COMで遊べる1試合のみのゲームです。リーグに関係なくどのチームとも、またこのゲームオリジナルのチームとの対戦が可能です。

プレイ人数・チームの選択

まず対戦方法を、「1P VS 2P」「1P VS COM」から選び、次にチームを選択。2人対戦の場合は2P側コントローラも使用します。



先攻 後攻/AUTOの設定

先に先攻・後攻、DHの有無を選択し、選択後に捕球・送球・走塁のオート操作をONかOFFかに選択します。



球場・先発投手の選択

そして試合を行う球場とデーゲーム・ナイトゲームかを選択し、最後に先発投手を決定したらよいよ試合開始です。



●オールスターゲームも楽しめます。

オープン戦モードでは、セ・パ両リーグの「オールスターチーム」が選べます。両チームの選手は、打席内では自分の所属するチームのユニフォーム姿で現れますが、フィールド画面上では違う色のユニフォーム（青+白（パ・リーグ）/緑+白（セ・リーグ））で現れます。



ペナント
PENNANT

ペナントレースモード

10試合だけの「MINI PENNANT」と全135試合+オールスター2試合で争う「FULL PENNANT」から選択してプレイする、1Pのみのモードです。

ファイルの選択

まずセーブするファイルを選択します。コントローラバックを使用しない場合、電源を切るとデータは失われるので注意してください。



チーム・モード選択

次に、使用するチームを選択し、「MINI PENNANT」または、「FULL PENNANT」からモードを選択。ゲームは選択したチームのリーグ戦となります。



試合日程と各設定変更

次に全試合の日程が表示され、Aボタンを押すと設定変更のウィンドウが出ます。設定が終わったら「次の画面へ」を選択してください。



対戦カードの先発投手決定

対戦カードが表示された後、捕球、送球、走塁をAUTOにするかどうかを選択し、先発投手を決定したらペナントレースが開始されます。



ペナント
PENNANT

ペナントレースモード

このモード、特に「FULL PENNANT」では実際のプロ野球と同様に長時間に渡るプレイとなります。長期戦を戦いぬくには先を考えた采配が必要となるでしょう。

スコアボードでチーム状態を読む

試合終了後はスコアボードの他、勝・敗・セーブ投手や安打数などの詳細なデータが表示されます。次の試合の参考となるでしょう。



先発投手のやりくりも大事

使用可能な投手の中から、その試合の先発投手を決めます。投手のローテーションもよく考えて選択すると良いでしょう。



オーダーも意欲的に変えていこう

ペナント開始から数十試合を消化すると各選手の能力が把握されてくるでしょう。時には先発オーダーを変えていく事も必要です。



オールスター戦も楽しめる

日程中盤ではオールスター戦をプレイできます。ペナントに影響無いですがリーグの名誉をかけた戦いましょう（「FULL PENNANT」のみ）。



ウォッチ

WATCH

ウォッチモード

1試合の対戦を観戦するモードです。PENNANTモードを始める前に、各チームの攻撃方法などを分析するのに役に立つモードです。

チームを選択

1P側コントローラで1P・2Pの順で対戦チームを選択します。後で操作を「自分」に変更できるのは1Pのチームになります。



先攻・後攻を選択

次に先攻・後攻（DHの有無）を選択します。観戦用のモードである為、ここでは捕球などのAUTOの選択は行えません。



球場／投手を決めて試合開始

その次に球場とデーゲーム・ナイトゲームの選択を行ない、各チームの先発投手を決定すれば試合が開始されます。



試合中に操作ができる

試合中、TIMEをかけてオプションメニュー内にある1P操作を「監督」から「自分」に変更すると1P側を操作できる様になります。



エディット

EDIT

エディットモード

このモードでは各チームの守備打順変更やオールスターオーダー変更、オリジナル選手の作成や変更が行えます。

チーム守備打順変更

各チームの守備や打順、スターティングメンバーの変更を行う時は、「チーム守備打順変更」をメニュー画面から選択します。



チームを選択後、3Dスティックで選手を選択。決定後に変更する選手を選びます。またスティック左右の操作で、守備位置のみの変更も行おう事ができます。



オールスターメンバー変更

「オールスターメンバー変更」をメニューから決定後、セ・パリーグのいずれかとフィールドャー・ピッチャーのいずれかを選択します。



次に3Dスティックを使ってメンバーからはず選手を選択した後、Z・Rトリガーボタンで変更する選手がいる球団を選択。再び3Dスティックで選手を選択・決定したら変更終了です。



エディットモード

オリジナル選手
データ変更

EDIT

オリジナル選手のデータを作成・登録・変更したい場合には、「オリジナル選手データ変更」をEDITのメニュー画面から選び、下記の手順で変更してください。

フィールダー・ピッチャーを選択

まず、変更するデータがフィールダーかピッチャーかを選択します。ZトリガーボタンとRトリガーボタンを操作して項目を選択し、Aボタンで決定してください。



選手データを作成

次に選手のデータを作成します。まずは変更する選手ファイル（新規作成時は無記名のファイル）を選択し、「選手データ作成」を選択します。選手名の入力を行う場合、「名前」を選択してAボタンを押し入力画面を呼び出します。各ステータスについては、A、Bボタンを操作して数値を変更してください。その他の細かい操作は画面上の指示に従ってください。



名前は、RトリガーボタンとZトリガーボタンで4種類 [ひらがな / カタカナ / アルファベット / 漢字] の入力方法が選べます。(漢字は、Rトリガーボタンを3回押したあと現れる50音表から音読みで検索して入力してください)



選手を登録

選手を選択後「選手データ登録」を選びオーダー変更の要領で登録します。抹消する場合は「選手データ登録解除」を選んでください。

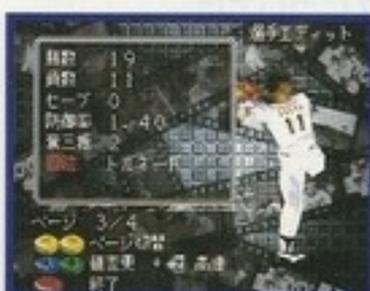


エディット
EDIT

エディットモード

オリジナル選手の
ステータス

ここでは選手データ作成時に使用するステータスの上限などを詳しく紹介します。なお作成できるオリジナル選手の数にはフィールダー36人、ピッチャー20人迄です。数値入力の時Zトリガーボタンで2ケタ目を変更できます。Aボタンで数字が加算され、Bボタンで数字がマイナスされます。



各ステータスの上限・種類

- 名前……8文字まで
- 背番号…00~09、0~99
- 打席……右、左、両方
- 投げ方…右、左
- 本塁打…0~99 (本)
- 打点……0~999 (打点)
- 盗塁……0~239 (個)
- 走力……0(遅い)~15(速い)
- 投力……0(弱い)~7(強い)

(以下は投手のみのステータスです)

- 勝数……0~255 (勝)
- 負数……0~255 (敗)
- セーブ…0~127 (Sポイント)
- 防御率…0~99.99 (点)
- 奪三振…0~999 (個)
- 投法……オーバー・サイド・アンダー
クイック・トルネード
- 球速……100~169 (km/h)
- カーブ……0(変化小)~7(変化大)
- シュート…0(変化小)~7(変化大)
- フォーク…0(変化小)~7(変化大)
- スタミナ…0(少ない)~7(多い)

※能力・成績で設定した打率、勝数などの数値は、あくまで設定上の数値であり、その設定どおりになるとは限りません。

オプション
OPTION

オプションモード

このモードではゲームのルール変更や特殊機能の設定などを行う事ができます。遊びやすいように自由に設定を変更してください。

各項目を選択

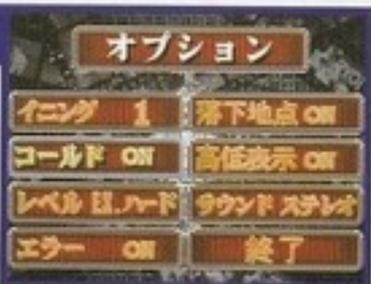
ここでは3Dスティックで項目移動し、A・Bボタンで数値・設定を変更してください。モードを抜ける時は「終了」を選択してください。

**イニング**

1試合のイニング数（1回の表・裏で1イニング）を1～9の間で変更できます。ただしPENNANTモードでは変更されません。

**コールド**

コールドの有り（ON）無し（OFF）の設定を変更します。ただしPENNANTモードでは変更されません。

**エラー**

捕手がフライをエラーする（ON）しない（OFF）の設定を変更します。PENNANTモードではゲーム開始時にも変更可能です。



オプションモード

「落下地点」「表示」はゲーム中でも設定変更が可能です。TIMEメニューの「オプション」を選択し、そこで設定変更を行う事もできます。

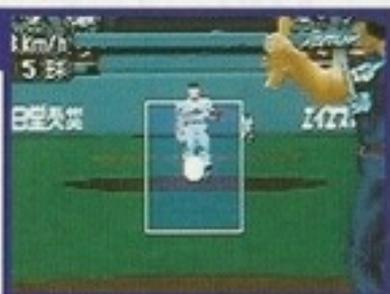
落下地点

フライ・ライナーの捕球地点を表示するターゲットを出す(ON)、出さない(OFF)の設定を変更します。



表示

投球の高低を知らせてくれる矢印を表示する(ON)、表示しない(OFF)の設定を変更します。表示をONにすると高めの球が来た時は上向きの矢印が、低めの球が来た時は下向きの矢印が、表示されます。



レベル/サウンド

「レベル」はオープン戦モードのVS COM時のコンピューターの強さを設定します。ノーマル(普通)、ハード(強い)、EX. ハード(凄く強い)の中から選択し設定してください。「サウンド」は接続されている音響環境にあわせステレオ・モノラルから選択してください。



6. 球団 & 球場紹介

オリックスブルーウェーブ



2年連続リーグ優勝を果たし、見事日本一を成し遂げた強豪チーム。「イチロー」を始めとする左打者陣が魅力だ。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
田口壮	6	右	右	279	44	7	10	10	6	11
福良淳一	1	右	右	284	26	0	0	9	4	10
イチロー	51	左	右	356	84	16	35	12	7	14
ニール	16	左	右	274	111	32	1	14	5	8
ドネルス	3	左	右	281	53	20	3	13	4	10
藤井康雄	8	左	右	274	61	20	1	11	5	8
高橋智	44	右	右	288	30	9	0	10	4	8
三輪隆	39	右	右	125	1	0	0	8	6	8
塩崎真	31	右	右	214	6	2	5	8	6	11
小川博文	23	右	右	288	38	9	1	9	6	9
大島公一	52	両	右	254	37	4	8	10	6	10
広永益隆	00	左	右	379	10	2	0	7	4	8
本西厚博	0	右	右	262	19	1	3	9	6	10
四条穂	36	左	左	261	8	0	0	8	5	8
嘉勢敏弘	9	左	左	227	0	0	0	10	7	10
谷佳知	10	右	右	231	4	0	8	7	4	12
中嶋聡	27	右	右	222	24	1	1	9	4	9
高田誠	38	左	右	220	14	3	0	7	6	7

選手名	背番	打ち	投げ	防御	盗塁	勝	負	セ	第三	勝速	打力	投力	走力
野田浩司	21	右	右	314	12	8	7	0	144	143	3	5	6
佐藤義則	11	右	右	558	9	1	2	0	21	136	3	5	5
星野伸之	28	左	左	305	11	13	5	0	85	138	3	6	5
フレーザー	19	右	右	307	10	10	2	0	51	148	3	5	6
平井正史	33	右	右	250	9	5	3	6	50	152	3	6	6
鈴木平	43	右	右	243	8	7	2	19	58	146	3	5	7
水尾嘉孝	12	左	左	145	7	3	1	3	36	139	3	6	5
渡辺伸彦	20	右	右	284	10	3	1	1	32	139	3	6	6
野村貴仁	15	左	左	286	8	4	1	5	84	140	2	5	6
小林宏	22	右	右	408	7	8	7	0	68	146	3	5	6

日本ハムファイターズ



落合博満の加入により、さらなる強力打線が実現。定評がある投手陣はリーグ1とも言われている。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
田中幸雄	6	右	右	277	82	22	3	12	6	9
金子誠	30	右	右	261	33	4	15	9	5	12
片岡篤史	8	左	右	315	51	15	3	11	5	9
落合博満	3	右	右	301	86	21	3	12	4	7
ウィルソン	15	左	左	286	90	29	1	13	2	8
ブルックス	9	右	右	280	61	20	3	12	6	11
井出竜也	5	右	右	254	38	7	11	9	6	12
田口昌徳	31	右	右	210	22	5	0	10	6	8
上田佳範	44	左	右	201	35	7	8	9	6	10
橋上秀樹	28	右	右	167	0	0	0	8	6	9
川名慎一	27	右	右	111	1	1	6	7	6	11
広瀬哲朗	1	右	右	256	34	3	8	8	6	10
安田秀之	33	右	右	243	14	3	0	10	6	10
石本努	37	両	右	281	4	1	7	10	5	13
中村豊	7	右	右	298	7	3	0	11	6	11
小川皓市	25	左	右	205	9	2	2	6	5	9
山下和彦	40	右	右	187	5	0	0	8	5	7
小笠原道大	2	左	右	207	14	2	0	9	6	10

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スリッパ	勝	負	セ	第三	最速	打力	投力	走力
グロス	60	右	右	362	14	17	9	0	79	145	2	7	5
西崎幸広	21	右	右	287	12	14	7	0	139	143	3	5	6
芝草宇宙	29	左	右	381	10	7	9	0	67	141	3	5	7
今井圭吾	17	右	右	362	12	3	4	1	51	147	3	5	7
岩本勉	18	右	右	399	8	10	9	0	144	144	2	6	5
金石昭人	23	右	右	210	8	1	1	20	12	140	3	6	6
今関勝	35	左	右	322	10	11	9	0	122	146	3	5	6
長富浩志	0	右	右	536	8	1	2	2	32	139	3	6	6
下柳剛	24	左	左	377	8	1	2	2	39	146	2	5	5
鳥崎毅	48	右	右	200	7	5	4	14	58	138	2	6	7

西武ライオンズ



王者時代から数年、スターティングメンバーが若返り投手陣にも新風が吹き込む。頼もしい新外国人も加入した。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
大友進	37	左	右	301	19	3	15	9	5	12
松井稔頭央	7	両	右	283	29	1	50	10	6	15
高木大成	10	左	右	278	24	4	3	11	5	9
鈴木健	8	左	右	302	60	21	1	12	5	9
マルチネス	60	右	右	268	91	22	0	12	4	8
佐々木誠	1	左	左	243	40	9	7	11	5	11
河田雄祐	35	左	右	242	11	1	8	9	5	11
伊藤勲	27	右	右	258	26	6	2	9	6	9
高木浩之	40	左	右	265	24	1	7	9	6	9
金村義明	24	右	右	175	6	0	0	12	6	9
垣内哲也	12	右	右	253	57	28	16	13	6	10
清水雅治	44	右	右	081	2	0	4	10	5	10
森博幸	20	左	左	209	5	1	0	9	4	8
奈良原浩	5	右	右	218	8	2	22	9	5	11
大塚光二	23	左	右	348	8	1	1	10	6	10
田辺徳雄	6	右	右	219	19	7	1	8	5	10
苜蓿誠治	4	右	右	300	5	0	4	8	7	11
和田一浩	22	右	右	243	5	3	2	10	7	12

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スリマ	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
西口文也	13	右	右	317	15	16	10	1	173	146	3	5	7
新谷博	17	右	右	341	12	11	5	2	121	143	3	6	6
ギブンス	50	右	左	374	11	9	7	2	91	144	4	6	5
瀬崎哲也	16	右	右	284	9	8	6	11	72	140	3	7	6
豊田清	38	右	右	308	9	5	5	0	88	142	4	5	6
渡辺久信	41	右	右	456	8	6	9	0	92	146	4	5	5
石井貴	14	右	右	293	8	3	6	4	74	142	4	6	6
竹下潤	28	左	左	553	8	2	3	0	73	147	3	5	5
橋本武広	34	左	左	227	6	0	0	8	24	139	2	5	5
ロバート	55	右	右	169	7	3	8	15	48	152	4	5	5

近鉄バッファローズ



今期からユニフォームを一新。ホームグラウンドも大阪ドームと変わり、イテマエ打線は更なる爆発を起こせるか。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
武藤孝司	48	左	右	259	21	1	17	9	6	11
水口栄二	10	右	右	281	28	8	5	9	5	10
山本和範	92	左	左	266	43	14	4	11	4	8
ローズ	20	左	左	293	97	27	11	13	6	11
クラーク	25	右	右	284	72	21	3	12	5	10
中村紀洋	3	右	右	273	67	26	4	12	6	10
鈴木貴久	2	右	右	268	50	9	3	10	5	8
中根仁	7	右	右	244	23	8	0	9	5	10
的山哲也	57	右	右	125	6	1	1	8	7	8
村上高幸	5	右	右	211	9	0	3	8	6	9
大石大二郎	4	右	右	219	19	2	11	10	4	10
吉田剛	8	右	右	239	19	2	9	9	5	12
大村直之	60	左	左	232	13	3	5	10	6	9
内匠政博	9	左	左	241	16	5	6	8	6	11
中島輝士	34	右	右	227	5	0	0	8	5	8
荒井幸雄	31	左	左	222	23	5	8	11	5	8
藤立次郎	39	右	右	309	21	9	1	10	4	9
古久保健二	27	右	右	207	18	4	0	9	6	7

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スリッパ	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
高村祐	24	右	右	394	12	7	8	0	82	142	3	6	6
山崎慎太郎	15	左	右	415	13	8	13	0	107	143	3	5	7
小池秀郎	23	左	左	594	11	3	5	0	54	139	2	5	6
香田勲男	12	左	右	964	9	0	3	0	6	142	3	6	5
石毛博史	17	右	右	351	10	4	1	3	28	150	2	6	6
柴田佳主也	62	左	左	506	8	0	0	0	4	145	5	5	7
品田操士	40	右	右	504	7	4	2	0	32	147	3	5	6
池上誠一	29	右	右	465	9	3	0	1	50	138	4	5	5
佐野重樹	14	右	右	295	8	5	3	7	75	140	2	6	6
赤堀元之	19	右	右	209	7	9	4	21	67	145	3	7	6

千葉ロッテマリーンズ



2人のエースを欠き苦しいベナントを予測されたマリーンズだが、小宮山以下の投手陣のファン張りが期待される。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
諸積兼司	0	左	右	253	11	0	15	8	6	11
小坂誠	00	左	右	262	21	3	12	10	7	13
堀幸一	5	右	右	312	68	16	8	11	6	10
キャリアオン	45	右	左	281	74	11	4	13	6	11
大村巖	55	右	右	312	32	8	0	11	6	9
初芝清	6	右	右	264	61	17	2	11	5	8
平井光親	21	左	左	249	33	5	4	9	5	11
トンプソン	22	左	左	300	84	21	2	12	5	10
清水将海	8	右	右	179	6	2	0	10	7	10
仁村徹	51	右	右	251	24	4	1	9	5	9
五十嵐章人	9	左	右	271	35	3	1	10	6	12
山下徳人	24	左	右	332	60	16	7	10	5	10
サブロー	2	右	右	314	27	4	9	9	6	9
南洲時高	1	右	右	264	38	5	7	8	5	10
林博康	23	左	左	188	2	0	1	8	7	9
佐藤幸彦	57	右	右	227	16	0	1	9	6	8
鮎川義文	36	左	右	143	4	0	0	10	6	9
吉鶴憲治	44	右	右	231	1	0	0	8	6	9

選手名	背番	打ち	投げ	防御	2アウト	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
小宮山悟	14	右	右	454	12	8	13	0	90	144	3	6	6
園川一美	28	左	左	545	11	0	7	0	49	139	3	6	5
藪田安彦	20	右	右	362	11	4	6	0	58	148	3	5	5
黒木知宏	54	右	右	358	12	8	7	0	90	143	3	5	6
フィアリー	47	右	右	595	9	7	8	0	46	141	3	6	5
竹清剛治	11	右	右	325	9	2	6	2	62	148	3	5	6
榎康弘	16	右	右	392	7	1	3	0	20	140	3	5	5
吉田篤史	13	右	右	552	7	2	3	0	29	138	3	6	6
河本育之	27	左	左	278	8	4	5	10	76	144	4	6	7
成本年秀	19	右	右	332	8	7	6	23	64	147	2	7	6

福岡ダイエーホークス



毎年優勝候補に名をつらね、
その実力は実証済み。厳しく
長いシーズンを、見事勝ち抜
く事ができるか!?

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
村松有人	23	左	左	293	38	0	58	9	5	15
井口忠仁	7	右	右	253	50	10	4	11	5	11
大道典良	55	右	右	325	51	10	0	10	6	9
小久保裕紀	9	右	右	247	82	24	7	13	5	10
吉永幸一郎	27	左	右	295	72	20	1	12	4	8
秋山幸二	1	右	右	300	66	9	13	11	6	11
若井基安	25	左	右	253	19	0	0	9	5	9
城島健司	2	右	右	241	9	4	1	12	6	9
湯上谷竊志	6	右	右	270	20	2	8	9	5	10
柴原洋	31	左	左	285	32	5	10	10	6	13
パークル	42	右	右	265	65	15	0	13	5	10
藤本博史	5	右	右	211	23	6	0	12	4	7
松永浩美	3	両	右	217	13	3	3	9	5	9
浜名千広	8	左	右	254	47	3	33	10	5	13
鈴木慶裕	0	左	右	236	14	1	3	9	5	10
柳田聖人	4	右	右	216	10	0	1	8	5	9
河野亮	35	右	右	254	24	7	0	10	5	10
田村藤夫	29	右	右	166	8	1	0	7	6	9

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スタミナ	勝	負	セ	奪三	暴投	打力	投力	走力
工藤公康	47	左	左	351	13	8	15	0	178	143	6	6	7
武田一浩	17	左	右	384	11	15	8	0	114	141	2	6	6
ウエスト	21	左	左	476	10	2	2	0	48	145	3	5	5
若田部健一	14	右	右	516	9	2	0	0	16	146	3	6	6
吉田豊彦	11	左	左	501	9	1	3	0	28	142	2	5	5
倉野信次	41	右	右	452	9	3	4	1	31	146	4	5	6
藤井将雄	15	右	右	518	7	1	3	0	26	140	3	6	6
ホセ	32	右	右	313	9	6	9	16	79	144	2	6	5
木村恵二	20	右	右	551	8	1	6	5	55	140	4	7	6
岡本克道	45	右	右	168	9	3	5	20	48	142	5	6	7

読売ジャイアンツ



桑田の復活、そして打線に更なる補強を加え投打に充実した巨人。代打陣の層の厚さも魅力である。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
仁志 敏久	8	右	右	270	24	7	17	10	5	12
川相 昌弘	0	右	右	232	22	2	5	9	5	10
松井 秀喜	55	左	右	314	99	38	7	14	6	10
清原 和博	5	右	右	257	84	31	0	13	4	9
清水 隆行	35	左	右	293	38	11	9	9	5	11
後藤 孝志	50	左	右	285	16	2	1	9	6	11
広沢 克	10	右	右	198	13	4	0	11	4	8
杉山 直輝	22	右	右	252	12	3	0	8	6	9
石井 浩郎	6	右	右	286	0	0	0	12	5	8
斉藤 宜之	58	左	右	264	20	6	3	9	5	6
緒方 耕一	44	両	右	208	11	1	2	8	5	12
元木 大介	2	右	右	229	35	9	3	9	5	10
大森 剛	32	左	右	189	2	2	0	10	5	9
ルイス	49	右	右	275	62	22	2	12	3	8
福王 昭仁	27	左	右	333	13	3	0	8	4	9
高村 良嘉	00	両	右	269	5	0	4	11	5	11
出口 雄大	66	両	右	222	9	1	5	9	6	10
村田 真一	9	右	右	198	26	5	0	8	6	8

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スタミ	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
斉藤 雅樹	11	右	右	236	15	16	4	0	158	146	5	6	7
桑田 真澄	18	右	右	252	11	14	11	1	185	142	2	6	6
横原 寛己	17	右	右	412	13	6	6	0	92	145	3	5	5
宮本 和知	21	左	左	305	9	5	3	0	52	140	6	5	6
ガルベス	59	右	右	305	11	16	6	0	112	150	3	5	5
ヒルマン	42	左	左	240	9	14	9	0	43	140	3	6	5
入来 祐作	20	右	右	326	8	8	3	4	52	149	3	5	6
西山 一字	47	右	右	440	8	6	5	1	37	151	4	5	6
川口 和久	25	両	左	295	9	1	4	3	62	142	3	6	7
木田 優夫	19	右	右	378	8	7	9	2	99	148	3	6	5

ちゅう にち
中日ドラゴンズ



火が付けば止まらない強電打線、エース今中を始めとする投手陣と、中日が強豪である事は間違いない。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
益田大介	40	左	右	301	3	1	1	9	6	11
鳥越裕介	41	右	右	276	17	3	8	8	6	10
立浪和義	3	左	右	323	62	10	2	11	5	11
パウエル	30	右	右	340	67	14	1	12	5	9
ゴメス	4	右	右	238	52	17	3	13	6	10
大豊泰昭	55	左	左	294	89	38	3	14	4	6
山崎武司	22	右	右	322	107	39	1	13	6	9
中村武志	39	右	右	271	37	12	2	10	7	7
音重鎮	50	左	左	265	41	11	3	10	5	9
川又米利	23	左	左	267	12	1	0	8	4	6
愛甲猛	9	左	左	207	17	4	0	9	5	8
権田仁	1	右	右	178	6	1	2	8	6	10
彦野利勝	8	右	右	270	22	3	0	8	5	9
山口幸司	00	右	右	250	1	0	1	7	6	11
神野純一	0	右	右	215	7	3	2	9	5	9
渡辺博幸	5	右	右	279	36	1	6	10	6	12
筒井壮	37	右	右	176	3	4	1	12	6	11
矢野輝弘	38	右	右	346	19	7	1	9	6	9

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スタミナ	勝	負	セ	勝三	最速	打力	投力	走力
山本昌広	34	左	左	367	13	7	9	1	119	138	4	5	5
野口茂樹	47	左	左	323	11	5	5	0	88	142	5	6	6
今中慎二	14	左	左	331	12	14	8	0	153	147	3	6	6
落合英二	26	右	右	374	10	4	6	1	61	144	2	5	6
前田幸長	31	左	左	421	8	7	4	0	55	136	2	5	6
角倉健	25	右	右	311	10	7	3	0	65	146	5	5	5
佐藤秀樹	24	右	右	493	9	3	2	0	51	142	4	5	6
小島弘務	57	右	右	623	8	2	2	0	22	141	2	6	6
中山裕章	19	右	右	288	7	4	4	14	42	142	4	6	7
宣銅烈	20	右	右	550	8	5	1	3	67	152	3	6	7

広島東洋カープ



投手陣の整備が緊急課題とされるが、江藤の一発、そしてつながる打線と理想的な攻撃力を誇っている。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
野村謙二郎	7	左	右	292	68	12	8	11	6	11
緒方孝市	9	右	右	279	71	23	50	12	5	14
口ベス	2	右	右	312	109	25	2	13	5	9
江藤智	33	右	右	314	79	32	8	14	6	10
金本知憲	10	左	右	300	72	27	18	11	5	8
町田公二郎	5	右	右	308	23	9	2	9	6	8
正田耕三	4	両	右	235	35	2	4	9	4	9
西山秀二	32	右	右	314	41	3	4	8	6	8
前田智徳	1	左	右	313	65	19	0	12	6	12
仁平馨	00	右	右	190	4	0	3	8	5	12
浅井樹	6	左	左	339	28	6	7	12	6	8
高信二	0	左	右	256	8	0	1	10	7	10
高山健一	25	右	右	224	5	1	0	8	6	9
野々垣武志	37	右	右	364	2	0	0	8	6	12
木村拓也	41	右	右	143	0	0	4	10	6	10
福地和広	44	右	右	226	10	3	25	9	5	14
吉本亮	40	右	右	368	17	5	1	10	6	11
瀬戸輝信	28	右	右	231	5	1	0	7	6	7

選手名	背番	打ち	投げ	防御	クマナ	勝	負	セ	奪三	盗塁	打力	投力	走力
紀藤真琴	11	右	右	427	13	12	7	0	114	142	2	5	5
山内泰幸	16	右	右	390	11	11	8	0	107	140	4	6	6
大野豊	24	左	左	393	10	5	4	0	72	144	3	7	7
山崎健	17	右	右	338	12	9	6	0	68	140	4	5	6
澤崎俊和	14	右	右	407	10	8	6	1	71	139	3	5	5
加藤伸一	12	右	右	378	8	9	7	0	55	142	4	6	6
高橋健	22	左	左	496	8	2	1	1	40	149	3	5	6
玉木重雄	30	右	右	411	8	3	1	1	41	141	3	5	7
横山竜士	53	右	右	214	7	0	0	0	7	142	2	5	6
佐々岡真司	18	右	右	170	8	5	7	23	71	149	2	7	6

ヤクルトスワローズ



毎年、ピッチャーの怪我で泣かされる投手王国・ヤクルトだが、やはり叡知に長けた実力は球界一であろう。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
飯田哲也	2	右	右	290	37	6	13	9	6	13
辻発彦	8	右	右	333	41	2	9	12	4	11
古田敦也	27	右	右	256	72	11	5	11	7	9
池山隆寛	1	右	右	268	29	7	3	12	5	10
稲葉篤紀	41	左	左	310	53	11	9	11	5	10
小早川毅彦	7	左	右	125	0	0	0	13	4	7
ホージー	10	両	右	274	41	4	21	10	7	13
宮本慎也	6	右	右	273	13	1	6	8	6	12
秦真司	26	左	右	241	17	6	1	9	5	8
オルティス	9	右	右	286	12	1	9	10	7	11
土橋勝征	5	右	右	278	35	6	7	9	6	11
大野雄次	30	右	右	222	10	4	0	8	6	8
三木肇	35	右	右	231	23	4	1	9	5	9
佐藤真一	00	右	右	194	7	2	1	10	5	9
馬場敏史	54	右	右	255	27	6	1	8	5	9
苫藤賢治	4	両	右	301	6	1	7	10	5	10
城友博	0	右	右	184	2	0	0	7	6	11
青柳進	44	右	右	188	4	0	0	7	5	8

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スリッパ	勝	負	セ	勝三	最速	打力	投力	走力
プロス	29	右	右	361	12	7	12	0	97	150	4	5	5
吉井理人	21	右	右	324	14	10	7	0	145	142	2	5	6
石井一久	16	左	左	523	11	1	5	0	26	144	2	5	5
田畑一也	39	右	右	351	11	12	12	1	109	139	1	5	6
高津臣吾	22	右	右	324	8	2	6	21	35	141	1	6	6
川崎憲次郎	17	右	右	386	7	0	0	0	2	145	2	5	6
伊藤昭光	18	右	右	483	9	3	2	0	27	140	2	7	5
加藤博人	13	左	左	763	9	0	0	0	15	144	3	5	5
山田勉	66	右	右	765	7	2	1	0	13	148	2	5	5
伊藤智仁	20	右	右	540	9	1	2	3	15	144	2	5	7

横浜ベイスターズ



問題視されてきた打線も充実。試合の主導権を握り、佐々木を登板させる展開に持ち込めば勝利は確実だろう。

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
波留敏夫	2	右	右	265	21	2	4	9	6	11
石井琢朗	5	左	右	282	29	1	45	10	6	14
鈴木尚典	51	左	右	299	62	13	6	11	5	9
ローズ	23	右	右	304	86	16	1	12	5	9
駒田徳広	10	左	左	299	63	10	1	11	4	8
佐伯貴弘	26	左	左	290	59	6	3	11	5	8
進藤達哉	1	右	右	262	24	2	4	9	5	9
谷繁元信	8	右	右	300	54	8	2	9	6	8
島山準	25	右	右	219	28	7	1	10	4	8
セルビー	29	左	右	274	72	12	1	11	5	10
宮里太	7	左	右	229	4	0	1	8	5	9
井上純	32	左	左	290	6	0	7	12	6	8
宮川一彦	36	左	右	247	9	2	0	10	5	13
川端一彰	38	右	右	274	9	2	0	9	5	9
新井潔	4	両	右	301	33	6	0	8	4	8
万永貴司	0	右	右	125	0	0	3	7	5	10
多村仁	52	右	右	184	4	1	4	9	6	12
秋元宏作	39	右	右	250	7	1	0	8	6	10

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スタミナ	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
斎藤隆	11	左	右	329	15	10	10	0	206	150	3	6	6
野村弘樹	21	左	左	412	11	10	8	0	85	143	3	6	7
川村丈夫	16	右	右	352	13	7	9	0	106	155	3	5	7
森中聖雄	14	左	左	354	11	3	4	3	46	145	3	5	7
三浦大輔	46	右	右	493	10	5	10	0	101	143	1	5	5
関口伊織	12	左	左	367	8	5	6	0	108	139	3	5	6
五十嵐英樹	13	右	右	338	9	9	6	2	59	138	2	6	6
戸叶尚	63	右	右	442	7	1	5	0	34	146	1	5	6
盛田幸希	17	右	右	543	8	5	9	0	77	148	3	6	5
佐々木主浩	22	右	右	290	7	4	3	25	80	148	3	7	6

阪神タイガース



毎年、開幕時の爆発力に定評がある阪神。投手陣を上手く調整し、開幕時の勢いをどこまで持続させられるか!?

選手名	背番	打ち	投げ	打率	打点	本打	盗塁	打力	投力	走力
和田豊	6	右	右	298	44	5	2	10	4	10
久慈照嘉	8	左	右	278	16	0	14	9	5	12
新庄剛志	5	右	右	238	66	19	2	12	6	11
桧山進次郎	24	左	右	263	73	22	5	13	6	9
平塚克洋	54	右	右	254	47	11	1	10	4	9
ハイアット	44	右	右	245	57	25	4	12	6	10
今岡誠	7	右	右	263	22	2	10	10	7	11
山田勝彦	27	右	右	190	18	2	0	8	5	7
八木裕	3	右	右	236	13	4	0	10	6	8
長嶋清幸	0	左	左	206	5	1	0	8	5	9
星野修	68	左	右	232	14	2	0	9	6	10
平尾博司	2	右	右	240	10	3	4	8	6	12
高波文一	4	右	右	184	3	0	7	7	5	10
誠	31	右	右	167	0	0	0	9	6	9
米崎薫臣	37	左	右	167	2	0	0	8	6	9
亀山努	00	左	右	378	11	3	2	10	5	10
定詰雅彦	28	右	右	185	15	2	4	9	7	8
関川浩一	22	左	右	314	28	2	5	11	5	11

選手名	背番	打ち	投げ	防御	スタミナ	勝	負	セ	奪三	最速	打力	投力	走力
藪恵巻	18	右	右	401	12	11	14	0	145	142	3	5	6
川尻哲郎	41	右	右	326	11	13	9	1	127	140	3	5	7
中込伸	1	右	右	661	10	0	4	0	25	143	3	6	6
船木聖士	35	右	右	449	9	6	9	0	70	148	2	5	6
湯舟敏郎	15	左	左	484	8	5	14	2	98	138	3	5	6
葛西稔	13	右	右	331	8	1	1	1	54	141	3	5	6
山崎一玄	16	右	右	461	9	3	4	0	53	137	2	6	6
古溝克之	50	左	左	377	6	3	5	4	69	140	2	6	5
田村勲	36	左	左	116	7	1	0	0	29	141	3	6	6
マクドナルド	24	左	左	401	8	7	10	12	75	138	4	5	6